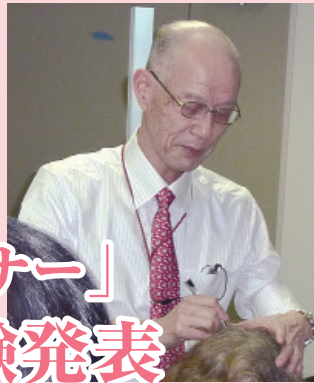


治療最前線

「チクチク療法セミナー」編

今、人気の「チクチク療法セミナー」 長田裕先生ご自身の体験発表

～先日骨折した部位をチクチク療法により、早期の回復をした事例～



長田 裕 (ながた ひろし)

1948年神戸市生まれ。
和歌山県立医科大学卒業後、同大
学附属病院、和歌山赤十字病院、
神戸市立中央市民病院などの脳神
経外科に勤務、1988年にナガタクリ
ニックを開業した。

◀この写真は昨年のセミナーで頭部に対して
実技指導を行っている様子です。



2017年2月28日午前8時15分
右肘頭骨折

今年3月20日チクチク療法 in 東京が開催されま
した。その会場でつい先日ご自身が体験した肘頭骨
折後のチクチク療法の効果について自ら体験者となり
資料をお作りになりました。会場内は大変反響があり、
この内容を是非記事として一部ご紹介したい旨を申し
出たところ快く承諾をいただきました。

具体的なテクニックはセミナーでの講義になります
が、今回は資料の一部を公開いたします。



上の写真は一灸を使い可動域を広げる治療をしている様子。
熱チクも新しい取り組み。(3月20日セミナー当日)



受傷約2分後



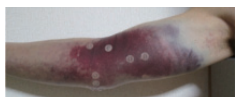
受傷約45分後



受傷約1時間48分後



受傷約3時間後



受傷約36時間後



腫れのピーク48時間後



3月3日 腫れのピーク中
3日後



3月4日 腫れのピーク過ぎる
4日後



3月5日 5日後



3月6日 6日後 7日に入院



3月8日に手術 3月9日 術後1日

3月20日セミナー当日、長田先生の
右肘は、受傷後20日しか経過してい
ませんが、皮膚の変色も大方消えて劇
的に回復しています。

長田先生は2月28日に転倒した際、
右肘頭部をしたたかに打撲し、ただちに
チクチク治療をしたところ痛みはすぐに
止まり、腕を動かせるようになったため、
翌日から仕事を続けたそうです。3月6
日骨折が判明したため3月8日に全身
麻酔で骨折修復手術を受けました。手術
までの八日間痛み止めを全く一錠も飲ま
ずに過ごせました。施術後もチクチク療
法を継続したところ、驚くほど回復し、
3月20日の東京でのチクチクセミナー

にも出席でき、その場でこのチクチクの
すごさをご自分の体験をもとに講義して
くださいました。長田先生は骨折された
とき良い機会だと思い、細かくデータを
とって皆さんの参考にできればと思った
そうです。

チクチク療法をさらによいものにした
いと日々研鑽され、研究を怠らない姿勢
は素晴らしいと思います。

長田裕先生は現在和歌山市で「ナガタク
リニック」を開業しています。元脳神経
外科専門医ですが、13年前より西洋医
学と東洋医学を融合した「刺さない鍼」
を用いた痛圧刺激手技とデルマトーム理
論で、数多くの難病・難治性疾患治療に
当たっています。

・学所属：日本臨床内科医会、日本東
洋医学会、全日本鍼灸学会。

著書：「自分でできるチクチク療法」など。